



# 環境みらい



7月

## オブ・ザ・ピープルについて

「人民の」と口にただけで、すぐ思い起こすのが「人民の人民による人民のための政治」である。それほどまでに広く長く定着している標語は他に見当たらないかもしれない。

大学院を出て助手になったのが1973年だから、既に学生生活から相当遠ざかっているが、学生時代に雑談中の友人から教わり、これまでこびりついて離れず、さまざまな場面でこだわってきたのが、「of the people」を「人民の」と訳したことの誤りである。それはある英文学者の文章を紹介しながらの指摘であった。

つまり——「オブ」は目的格だから「人民の」と訳すのは間違いで、「人民を」と訳すべきだ。実は私たちピープル自身の支配のされ方をピープルである自分たちで決めることを言っているのだ——というものである。

長田弘のシリーズ「詩人が贈る絵本」の一冊に『リンカーン ゲティスバーグ演説』（みすず書房、2002年）がある。出版社によるその紹介には「《人民の、人民による、人民のための政治》、誰もが知っているこの言葉で終わる合衆国大統領の1863年の演説は、今こそ読まれるべきではないか」とあるのだが、長田弘は演説の末尾の部分をピープルの訳にこだわりながら、「人びとを、人びとが、人びとのために、自ら律する国のあり方を、この地上から消滅させないために」と訳している。彼は、「リンカーンの『the people』を『人民』や『国民』としてでなく、あらためて『只の人間』として、すなわち『人びと』としてとりもどす」ことを試みたと述べている（『知恵の悲しみの時代』2006年、みすず書房）。

演説でいう「ザ・ピープル」は、確かに「人びと」と訳されるのが私たちには最も馴染みやすいと思う。それ以上にうなずかされたのは、こだわってきた「of the people」が、「人びとの」ではなく「人びとを」と正され、「自ら律する」が加えられていることである。

リズムカルな訳「人民の、……」については、岩波文庫の『リンカーン演説集』（1957年初版）に訳者（高木八尺）の解説がある。そこでは、「of the people」に関して、「（目的格である）人民の上に行われる政治」および「（主体である）人民の行う政治」という二つの見解が対立していて、前者が有力ではあるが、そして、「文法のこととはともかくとして」と断わりながら、「人民の形作る政治」を意味すると解して、後者が正しいと述べている。

岩波文庫のその解釈は、やはり少し無理があるように思う。しかも結果として、そのように「人びとを自分たちで自ら統べる」という目的格の意味が失われたまま流布し、定着してしまったことによって、「ルールづくりを自分たちで行いながら、自分たちを規制し合う」ことの重要性が私たちの間で意識されなくなったのではないだろうか。

各地域において、住民参加を旨とする、都市計画における地区計画や景観法に基づく景観協議会がそれほど活発化しないのも、そして、私益を超えた共益や公益の大きな価値実現への取り組みがそれほど盛んにならないのも、つまりは、「何をしていても自由」な「私」や「私有」が、「公」に背を向けて前面に出やすいのは、その辺にその要因をたどれるのではないかとすら思っている。本誌1月号で述べた《脱・自分バッカ》をめざそうとする時、「of the people」の意味するところをよくよく考えてみる必要があるようだ。

## 7月のリサイクル教室のご案内

曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	3日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物：参加料 400円・弁当・裂き布・毛糸など 定員：4名
	10日・24日 10～12時	着付け 津森 美智子	着物の着方、名古屋帯の着方。 持参する物：参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	10日・24日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	布のリフォーム・着物や帯で袋物やベストを作ります。 持参する物：参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	10日 10～12時	廃食用油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食用油を材料にして石けんを作ります。 持参する物：参加料 150円・エプロン 定員：20名
水	4日・18日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物：参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員：15名
	18日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物：参加料 400円・30cmものさし・はさみ 洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)40本 (幅 9cm、長さ 75cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員：10名 7月20日と2日間できる方限定。
	25日 10～12時	環境講座 電気とあそぼう 中国電力	親子で楽しい夏休みの特別講座。燃料電池を作ろう。 持参する物：参加料 200円 定員：30組（親子で1組）
木	5日・19日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	12日・26日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員：10名
	12日・26日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物：参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員：10名
	12日・26日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物：参加料 400円(材料代別) 定員：5名(2日間参加できる方限定)
金	20日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	18日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	27日 10～14時	エコクッキング 家根内 清美	場 所 山口合同ガス(株)体験ハウスひまわり館 下関市本町三丁目1番1号 持参する物：参加料 600円・エプロン・三角巾・筆記用具 定員：20名 申込期限 7月20日(金)まで
	13日・27日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物：参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員：8名
土	7日・21日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員 10名：
日	8日・22日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物：参加料：1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員：10名
	15日 10～12時	生ごみ堆肥&ベランダ菜園サークル 久田 豊樹	ベランダ菜園について講話 持参する物：参加料無料 定員：10名

### ◎教室の申込み方法◎

7月1日午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>

# お知らせ

## 第9回通常総会の開催結果について

去る5月26日（土）10時30分から当法人第9回通常総会が、しものせき環境みらい館啓発棟3階第2研修室で行われました。会員総数261名のうち、委任状出席者（129名）を含め166名の方が出席されました。

### 審議事項

- ① 第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について
- ② 第2号議案 平成24年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ③ 第3号議案 会費の決定について
- ④ 第4号議案 役員の退任に伴う後任役員の選任について
- ⑤ 第5号議案 定款の一部改正について
- ⑥ その他の事項について

議事内容 第1号議案から第5号議案について、各議案とも活発な質問、意見、要望等が出され、その後原案通り承認されました。

なお、総会での坂本理事長より今年度の方針に関する補足説明は以下の通りです。

「昨年度は、事業推進のスローガンとして「《EPR(拡大生産者責任)とC2C(Cradle to Cradle=ゆりかごからゆりかごへ)を広めよう」を掲げましたが、部分的に研修旅行やシンボルマーク募集などにその趣旨を盛り込む程度で、研修会やシンポジウムなど普及展開のための事業は十分にはやり切れませんでした。

本年度は、昨年度のスローガンの内容を引き継ぎながら、第2回環境みらい大賞の最優秀賞の標語にもあやかって、「もどらないは、つくらない、MOTTAI・AI (勿体・愛)」とし、ものづくりやものの使い方のあるべき方向性の探究にこだわっていくことにしたいと考えております。

また、本年度は、創立10年目の節目の年を迎えるに当たって、全国の皆さんが参加された昨年度のデザインコンペで選ばれて一新したシンボルマーク、ロゴタイプ、および、キャラクターを活用しながら、10周年の活動展開の節目になるような記念事業を行うための準備として、この10年間の活動を振り返り、課題を探り、次のステップへの改善を図るため、この10年間の活動の記録を冊子にまとめることにします。」

毎月**第3金曜日**は、下関 **ノーマイカーデー**

【滝部駅の利用促進にご協力下さい】



CO<sub>2</sub>を削減して、地球を救おう！



滝部駅利用してね～！

公共交通機関、自転車、徒歩、相乗りで通勤しましょう





# しものせき環境みらい館 は、

「見て」「聞いて」「触れて」「楽しみながら」  
リサイクルの体験・学習ができます。



## 寄贈品の受領についてのお願い



### 寄贈受領品目

食器・陶磁器、衣料品、書籍

現在、上記3品目をリユース品として寄贈いただき、それを望まれる方々に安価に提供し、限りある資源の節約に努めておりますが、最近リユースできない汚れもの等が多く見受けられるようになりました。

つきましては、大変恐縮ですがお持ち込みの品物を確認させていただき、リユースできない品物があった場合には、お受け取りできかねますので、予めご了承ください。

皆様の、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎しばらくの間、廃油の引き取りは中止させていただきます

◎フリーマーケット出店者様の出店後の寄贈はお断りします

責任を持ってお持ち帰り下さい



## 図書室のご案内



環境みらい下関は、図書室が併設され、特に環境に関する専門書を集積した図書室を目指しています。また、地域の人々の交流ゾーンとして大いに役立てて下さい。

■利用時間・・・午前10時～午後5時まで

■貸出方法・・・1階の受付で手続きをして下さい。図書は1人10冊まで、期間は2週間です。

## しものせき環境みらい館 ご利用案内

- 開館時間 10:00～17:00まで
  - 休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）
- サンデンバス停「垢田」「稗田中央」より徒歩 約5分  
電話 (083) 252-7220 FAX (083) 252-7222  
<http://www.kankyo-mirai.jp> eco@kankyo-mirai.jp

